

# ダルク女性ハウス

DARC Women's House



イラスト サリー

## ■あたしたち人間じゃない■

はるえ

先日、家族会のかたに「人間やめますか、覚せい剤やめますか」という標語ですごく追い込まれていたというお話をきいた。自分のお子さんが覚せい剤をつかっていることがわかった時に近所を歩くのに帽子をかぶり、職場に迷惑をかけないように、辞表を書き、スーパーは閉店まじかにかけてこむように利用し、とにかく、近所の目がこわくて身動きできなくなったとおっしゃっていた、何年も下をむいて歩いていた、薬物依存症が病気であることは、なかなか受け入れられず、自分も、「うちのこは人間じゃなくなったんだなあ」病気であることがわかるのに10年かかったんです。危険ドラックも違法とされる前は家族会にたくさんの家族がつめかけていたが、違法化されたとたんにくモの子を散らすようにいなくなったそうだ。ダルクには違法化される前につながった若いメンバーたちがたくさんいる、相談しやすいほうが家族にとっては楽だし、早くつながれるのかな、私はこの標語が使用されるようになった時すでに自助グループメンバーだった、自助グループのミーティングで16歳の仲間が「俺たち人間じゃないらしい」「じゃあ、なあに」「おけら」「ごくつぶし」そんな会話をした仲間はもう生きていない。ハウスでも危険ドラックの家族からの電話相談は減り、ひどい状態で入院した病院からの相談が増えたきがする。

## ■ありのままの自分■

マァー

今月で入寮して6ヶ月が経ちました。

以前私は関西の施設で1年3ヶ月入寮生活をしていましたが、薬が止まらず、今回地元から離れて東京に来る事になりました。はじめは女性だけの施設に慣れなくて、何かと気を使いながら生活をしていました。しんどくても無理して笑ったり大丈夫なふりをしたりして、中々ありのままの自分を出すことが出来ませんでした。気疲れもしていたと思います。でもそんな自分に気付かなかったのです。男性がいなくて女性だけの生活の中で、今までカバー出来ていた自分の弱い部分(傷つきやすかったり、仲間の輪の中に居続けなかったり)が見えてきてそんな弱い自分が嫌で受け入れられませんでした。だから関西の施設と今の施設を比べて嫌になったり、関西の施設に帰りたいとばかり思っていました。

今思えば、関西にいた頃は男性に依存していたし、自分の問題とも向き合わずに、もう自分は大丈夫と思い込んでいました。スリップが続いても、たまたま使ってしまっただけと自分に言い聞かせていたし、なぜ薬を使ってしまうのかってゆう自分の問題に向き合う事をしませんでした。結果、スリップが止まりませんでした。そうゆう自分の経緯や自分の不安などもはじめの頃は言えずにいました。今は少しずつ自分の話しをする様になり、自分の弱い部分も見えてきてそれをスタッフに話せる様になりました。なぜ話せる様になってきたかと言うと、周りの仲間たちも同じ思いや同じ気持ちでいたりする事が分かったからです。ミーティングで自分の話しをしたり、些細な事や小さなとらわれ事でもスタッフに相談をする。そうやって仲間の中で安心したり自分の気持ちと向き合ったりするんやなあと思いました。自分以外の考えや他の人の意見を知る事で自分の視野が広まってそれが自分の自信に繋がるんやと今は思います。

今の私はありのままの自分を受け入れていく事が必要で、自分に無理をせずに、これからも辛い事やしんどい事とかあると思うけど、そんな自分の気持ちに素直になってありのままの自分でいられる様になりたいと思います。

## ■2度目のフリッカ通所で！■

ゆりこ

私は2度の通所歴があります。2度目の通所から現在12年が経ちました。ニュースレターを書くにあたり、これまで書いた物を読み返してみました。

クリーンが始まった12年前は日常に起きる出来事、それにとまって湧く感情さえシラフで受け止めて、消化することさえできなくて、本当にしんどかったです。

今回の通所がはじまった頃、子供と一緒に暮らしながら通所する仲間が3人居ました。そこで当時に始まったのが母子プログラムです。月に一度その仲間と子供が集まり、食事をしたり(手作り)レジャー、キャンプ、クリスマス会等を行い共に過ごすシンプルなプログラムです。私は、このプログラムには大変助けられました。

当時の私は、日常についていけないほど弱かったです。使っていた頃とは変わり、家の中には男性は入れず家は落ち着き、ミーティングのおかげでクリーンは続きました。

しかしその一方で、その落ち着いていく親に安心した子供達は、子供らしさを取り戻し、不登校が出来る程安心して家に引きこもり、そしてついには弾けて非行に走る(笑)、今は笑えますが、当時は笑

えませんでした。だから、母子プログラムは、そんな疲れ切った私と弾けた子供の拠り所になっていました。

本当にこれまで色々ありました。私のクリーンがないまま、非行や不登校になっている子供に独りで付き合い対応する能力も気力もなかった私です。そこを、サポートしてくれたのがスタッフや母子プログラムやミーティングでした。使っていた時は、子供を気に掛けることも薄かった。しかし、子供らしさを取り戻した子供と、向き合った時、これまで迷惑をかけた分の事が、自分の元に戻されたのだと今は思います。

1番目に辛かった出来事は、息子が他人を殴ってしまった時でした。

その日家に居た息子は、外へ出て帰ると様子を変えました。落ち着きがありませんでした。しばらくすると、娘の友達から、電話が入り、その子の兄が救急車で運ばれたと聞きました。なんだか気になり、A君に会っていたのかと息子に聞くと怪我をさせたのは僕だと答えました。理由は嘘の噂をたてられた事に腹が立ってのことでした。どんな理由でも人を殴るのは全面的にいけない事だと初めて強く叱りました。それまでの私は罪悪感から子供を叱る事は出来ませんでした。時間が経てば警察から連絡がきます。それを待たずに(一緒について行くから)今こんな事になってしまったと2人で警察に行くか?待つか?と息子に聞いてみました。なぜかそれが一番今後の息子のためになる事だと思ったからです。じっとしていられなかった。私が使っていた頃、暴力を視て育ったから解決方法が暴力になっていると思ったからです。息子は待たない方を選びました。

まずA君の運ばれた病院へ息子と2人で掛けつけました。合わせてもらえる訳もなく、相手の父親の怒りを受けて2人で帰りました。当然です。次に最寄り警察署へ電話を入れて話しをして、うちが関わっていることを伝えました。そしてその足で、警察へ2人で向かいました。謝罪は何度か行きました。息子も私も辛かったです。事の重大さに、相手の怒り、相手の怪我の具合、相手の今後、今後の不安、息子の処分、息子のこれから。本当に色々考え、向き合い、つきそい、色々息子とも話しました。家裁では私のこれまでの事を含め息子の生い立ちも話しました。処分は保護観察でした。その後は保護司さんの力も借りて、私との時間も以前より増やし、家族の会話も増やし時間をかけて共に成長してきたと思います。

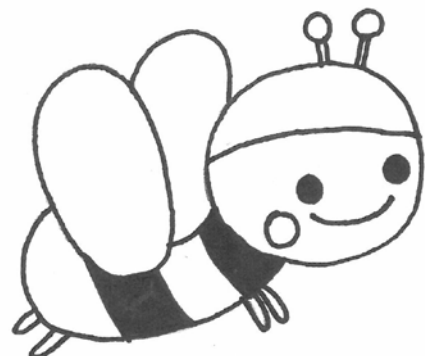
この出来事がおきたとき相手の親の怒りを見たとき事の重大さを知り、逃げたい気持ちが湧き、薬を使いたいと心の底から思いました。その時に助けてくれたのは、スタッフや仲間でした。

なぜ使わずに済んだのか?それはこの時も使ったら息子を、娘を、また裏切ることになる気が付けたからです。

私は向き合えずに色々な事から逃げて使い続けた結果、息子と娘の生活が今荒れている事にやっと気付けたからでした。それまでは、私は悪くない!なんで子供たちは立ち直ろうとする私を苦しめるのかと思っていた。でも違った。私が傷つけた結果、子供たちは苦しみ、怒り、見失い、彷徨ってしまっていたと今は思います。

フリッカは使ってどうにもならない私を受け入れて居場所をくれ、日常に寄り添いながら長〜い付き合いを今も続けてくれています。感謝です。

母子プログラムがはじまり子供が中学に上がる頃から手伝いをさせてもらいながら。今も手伝いは続けさせてもら



っています。当初は4家族でしたが今は12家族くらいに増えました。毎月変わらず行っています。新たに生まれた仲間の子供たちは今保育園児が多く、とても賑やかです。うち娘は初代の子です。しばらく母子プログラムから離れていましたが、また集まりに戻ってきました。来るとホッとするし小さい子供たちに癒されるそうです。私の元に問題を戻してくれた(グレた)息子と娘にも今は感謝しています。

今は2人共自分のやりたい事を楽しんで生活しています。私も！！?(笑)脳はあるから?です。娘と私の話しもありますが、長くなるのでまたの機会があれば書きたいと思います。生きていれば色々ある出来事を薬でごまかしていた私でした。けれど今は一緒に止める仲間、見守ってくれる仲間や人達、受け入れ続けてくれる居場所があるから、シラフで日々の出来事にも向き合い、消化していける様に成長しました。

しかし、独りでは成し得ませんでした。その事を忘れずにいたいです。これまで受けた優しさのお礼は、私の出来る事で返していきたいです。



イラスト サリー

## 献金・献品ありがとうございました！ (2015.10~2016.3)

谷部陽子 相澤靖雄 奥田保 細川幸子 二宮博子 まつしま病院 米沢宏 古谷高子  
竹田寛 早苗麻子 中村勤 宗形博子 カニヤレイコ 和田妙子 吉田暁子 林久美子  
山田恵美 大川喜代子 栗原節子 ノートダム教育修道女会小竹町藪修道院

(敬省略 順不同)

★今後ともよろしく願いいたします。

- 一口 2,000円 (一口以上、何口でも可)
- 郵便振替口座 00140-2-591609  
他金融機関からの振込用口座番号  
店番(019) 当座 0591609
- NPO 法人ダルク女性ハウス

**賛助会員募集**

## ■編集後記■

4月から就労継続支援B型を開始しました。慣れないことに、日々戸惑っています。私たちの活動が依存症の女性の息の長い支援に繋がっていくよう、みんなで協力してがんばっていきたいと思います。

みなさんにわからないことを教えてもらうこともあると思いますが、これからもよろしく願いいたします。



イラスト サリー